

「環境」をテーマとした 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成26年8月28日(木)18:30~19:30

場所:教育総合センター

※平成26年度 第3回目

平成26年10月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年8月28日(木)18:30~19:30
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鹿児島大学SCP 女性	① 私たちはエコスイーツ活動というのをしている。環境活動というのは団体や企業の行う小さな活動積み重ねが大事だと思うが、市民を多く巻き込んだ環境活動というのに対して市長の考えを教えてください。	① 鹿児島市は第二次環境基本計画の中で、低炭素社会・循環型社会の構築など6つの基本方針を示して、それぞれの方針に基づいて事業を進めています。また、総合計画の7つの柱の中でも環境を重点施策として、市民と一緒に取り組むことが重要だと考えています。皆さま方の団体や他のボランティア団体の方々、環境に興味のある方々と連携して、環境施策を進めていきたいと思えます。皆さま方は市民が主役の環境アップサイクル活動をしているとのことですので、我々と一緒になって進めていただければと思います。また、環境施策を進める拠点施設の環境未来館に、今年の4月に環境未来財団を作りましたので、そこも連携して、活動を進めていただければと思います。	環境局	市長回答のとおり
2	NPO法人鹿児島技術士の会 男性	② 市内における交通過密を減らすために、郊外の団地間の交流ができるような道づくりをしてはどうか。	② 団地間を結ぶ道路の整備には相当の予算の確保が必要ですので、あいばすや他の公共交通機関を使ったアクセスの検討を進めていければと思います。地域間の連携がスムーズにいくような対応はしていますが、鹿児島市は団地が非常に多いので、その間を道路で結ぶというのは技術的には可能かもしれませんが、予算が相当必要ですので、いまあるものを活用しながら対応していきたいと思えます。	建設局	市長回答のとおり
		③ デング熱を媒介する蚊が日本にも来ているが、そのような蚊が発生しないように調整池の環境を整えてはどうか。	③ 団地を作る際に災害防止という観点から調整池を作っていますが、そこに有害なものが発生するというのは市民にとっても迷惑なことなので、しっかりと対応していきたいと思えます。	建設局	調整池については、調査・点検の結果に基づき、ふとんかごの清掃や土砂の浚渫を行うなど、適切な維持管理に努めております。
		④ おれんじ鉄道を広木駅に停まるようにすれば、星ヶ峯や桜ヶ丘の人が広木駅を利用して、低炭素の交通を実現できるのではないか。	④ おれんじ鉄道を使ってというのは困難ですが、JRを使って中心市街地に来てもらえるように進めていかなければと思います。	環境局	市長回答のとおり
		⑤ 人口減少・高齢化によって空き家が増えているので、この空き家を施策の中で活かすということではできないか。	⑤ 人口減少に伴って空き家が多くなっていますが、鹿児島市でも条例を施行しました。先日の県市意見交換会でも、それぞれの市町村にとって大きな課題ですので、県全体で連携して進めていこうとなりました。	建設局	空き家の活用については、地域の交流施設や体験学習施設として活用する場合、国の空き家再生等推進事業で補助する制度がございます。 今後、空き家を地域で活用したいなどの具体的な提案が寄せられた段階で、関係課と協議しながら、活用策等について、研究したいと考えております。
		⑥ 鹿児島市に観光に来る外国人のために、市の財源の使ってWi-Fi環境を整備すれば、美しい景観・歴史的な資産を世界に発信してくれるのではないか。	⑥ 交流人口が増加し、外国人観光客から要望の多かったWi-Fi環境の整備については、8月から観光施設等7か所について整備を進めています。また、民間のホテルなどにおきましても、補助金を活用して整備を行っていただいています。Wi-Fi環境を整備することで、多くの外国人観光客が来る道筋ができるのではと思っています。	経済局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年8月28日(木)18:30~19:30
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	健康な「人・まち・心」をつくる会 男性	⑦ 私たちの団体は、様々な環境問題と人の健康問題を一体として捉え、健康増進・食育・美育の3つの事業を中心に活動を行っている。人口60万人を超える鹿児島市として「みんなでつなぐ人と地球にやさしい環境都市かごしま」を目指して、第二次鹿児島市環境基本計画を策定して、実行を進めているようだが、市民が参画できる環境施策として現在進められている事業、またどのような構想を持っているか市長の考えを聞かせて欲しい。また、私たち市民が鹿児島市のまちづくりにあたってどのように協力できるかも教えて欲しい。	⑦ 鹿児島市では、かごしま市民すこやかプランという平成25年度から平成34年度までの10年間の指針を策定しました。子どもから高齢者まですべての市民が共に支えあって、すこやかで心豊かに生活できる鹿児島市の実現を基本と理念として、市民が主体的に健康づくりに取り組んでもらえたらと思っています。推進にあたっては、栄養・運動・休養等健康づくりに関連のある10の分野について具体的な目標値を設定し、関係機関・団体の積極的な協力を得ながら、バランスのとれた生活習慣の定着とか、正しい知識の普及と実践の促進に取り組んでいます。具体的には、イベントの開催時にパネルの展示やリーフレットの配布を行ったり、ラジオ番組の制作・放送、関係団体と連携して開催する市民健康まつりで健康相談や血圧測定などを行っています。行政が取り組む様々な事業に、皆さま方に参画していただいで大変ありがたく思っています。特に精神保健福祉に関しては、行政では行き届かないところもあるかと思っておりますので、地域や団体の皆様と連携して進めていければと思います。また、皆さま方がイベントなどをされる際に行政として協力できることがあればしていきたいと思っております。 昨今、年齢を問わず心の悩みを持つ方が多くなってきており、早期に気付き、相談・治療に繋げることが大切ですので、ぜひ、心の悩みの解決にもご協力いただけたらと思います。	健康福祉局 環境局	【健康福祉局】 市長回答のとおり 【環境局】 望ましい環境像の実現のためには、市や市民、事業者、市民活動団体がそれぞれの役割分担のもと、協働・連携して環境に配慮した行動を実践していく必要があり、その中で、皆様の役割は、かごしま環境未来館や地域公民館で開催される環境学習への参加や、地域の環境保全活動などを通じて、環境問題について考え、環境に優しいライフスタイルの定着を図ることであると考えております。 例えば、ごみの減量化・堆肥化への取組や、地域における資源物回収活動など、日常生活の中で取り組む環境負荷を低減する3R運動の推進について、今後も皆様方に積極的に取り組んでいただき、ご協力いただきたいと考えております。 なお、かごしま環境未来館では、市民の皆さまが環境問題等について楽しく学べる参加体験型の講座やイベント等を開催しています。このほか、市民の皆さまと協働して温室効果ガスの削減に取り組む緑のカーテンの普及促進などにも取り組んでいます。 また、市民・事業者・行政が協働して環境保全に取り組む団体「環境パートナーシップかごしま(エコパかごしま)」の活動に多くの市民の皆さまに参加いただいております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年8月28日(木)18:30~19:30
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	西坂元町町内会 男性	⑧ 西坂元町は縦2km、横1.5km、約1000世帯の町で、町内会が出来て150年になる。城山町は縦300m、横500mの中に公園が3か所あるのに、西坂元町には、公園も公衆便所もない。地図上は公園というはあるが、市に聞くとその土地は管理地のため便所も遊具も置けないとのことであった。どこで夏祭りをすればいいのかという問題がある。昨年は管理地で夏祭りをやり320人の方に集まっていた。しかし、今年は予算がないとのことで、のり面の草を刈ってもらえなかったために、管理地での夏祭りはせずに、道路で夏祭りを行う予定である。行事をやるためにも、公園を作ってほしい。まずは管理地を埋め立ててもらえば、いい公園ができると思う。公園緑化課は新しい土地があれば公園を作るといって、600㎡以上の土地を購入するより、管理地を埋め立てて昇降機を作れば、費用も安く済むと思う。おれんじ鉄道に補助する10億1500万円の補助金の何分の一かあれば草も刈れるし、公園もできると思う。	⑧ 西坂元町は歴史ある町内会で、そこに公園がないということは報告を受けています。どこか他の場所に公園を整備するかというのは検討を進めていかなければいけないですが、現在の管理地を埋め立てるといっては、大規模な造成が必要になりますし、調整池等の設置、施工中における様々な対策が必要になると考えられます。また、急傾斜地崩壊危険区域にも近接していますので、そのようなことも考慮しながら検討を進めていかなければいけないと思っています。おれんじ鉄道については、県全体で支援しようという方針ができています。	建設局	上之原管理地を埋め立てて公園を整備するためには、地形上、大規模な造成や調整池等の設置が必要となるほか、施工中においても、周辺沿道の騒音振動等の生活環境対策が必要になるものと思われます。また当該地は砂防指定地内にあり、急傾斜地崩壊危険区域にも近接していることから、造成を伴う土地利用は困難であると考えております。
5	西坂元町町内会 男性	⑨ 管理地の地盤はもう固まっているように思えるので、現在の技術を使えば、道路の半分くらいまで高さが引きあげれば、高齢者にとっても使いやすい公園になると思う。技術的に不可能かどうか分からないが、検討していただきたい。	⑨ 技術的な面もありますが、急傾斜地崩壊危険区域ということもありますので、それも含め検討していきたいと思っております。地域でまちづくりをするという施策を進めていますので、地域に集える場がないというのは、まちづくりの推進からマイナスかと思っておりますので、どういう形がいいのかしっかりと検討していきたいと思っております。	建設局	上之原管理地を埋め立てて公園を整備するためには、地形上、大規模な造成や調整池等の設置が必要となるほか、施工中においても、周辺沿道の騒音振動等の生活環境対策が必要になるものと思われます。また当該地は砂防指定地内にあり、急傾斜地崩壊危険区域にも近接していることから、造成を伴う土地利用は困難であると考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年8月28日(木)18:30~19:30
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	NPO法人鹿児島技術士の会 男性	⑩ 現代の都市開発は右肩上がりの時代ではないので、今ある資産を見直して、如何に活用するかという観点が大事だと思う。鹿児島市の資産は歴史と景観だと思うが、磯のあたりは景観指定区域になっており、市民の憩いの場になるべきところにホテルやパチンコ屋がある。石橋公園と磯庭園を結ぶ要所であり、観光の名所だと思うので、このような視点で行政も取り組んでほしい。	⑩ 現在景観条例で高さ制限をしており、推進地区として制限を加えております。上町地域は鹿児島の発祥地であり、世界文化遺産に登録しようとしている地域でもあるので、歴史と景観は守っていかなければいけないと考えています。	建設局	磯地区については、平成26年4月1日に景観形成重点地区に指定するとともに磯地区景観計画を施行しております。同計画において、高さ等の制限を加えることにより、歴史、文化景観等を保全し、活用した景観づくりを進めております。ご指摘のホテル、パチンコ店のある一帯は、同計画の磯地区景観計画区域外にありますが、一定規模以上の建築等を行う場合は、市全域を対象とした鹿児島市景観計画で定める事前の届出により景観形成基準との適合チェックを行うことなどにより、良好な景観形成を推進しております。なお、今後、南洲門前通り地区や歴史と文化の道地区等においても景観形成重点地区指定に向け、住民等との協議を踏まえた検討を進めてまいります。
		⑪ 城山公園は駐車場から遊歩道まで小山があり、遠回りになっている。小山を削って、公園を整備すれば、駐車場面積も増えるし、アクセスもよくなり、市民の憩いの場となるのではないかと。	⑪ 国の指定地域になっていますので文化庁が管理していると思いますが、市有地・県有地・私有地が混在していますので、山を削ってとなると関係団体と協議が必要になると思います。	建設局	城山公園を含む城山は、国指定の天然記念物となっており、わが国の西南暖地の植物群落の特色である照葉樹林が、原生林に近い姿で残っている大変貴重な財産であることから、大規模な土地の形状変更は考えておりません。
		⑫ 西郷洞窟の前に、民間の業者が店の駐車場として広い駐車場を持っている。鹿児島市として、土地を買い取って、誰でも使いやすい駐車場にしてはどうか。	⑫ 駐車場は民間の所有地ですし、そのような要望というのは今のところ聞いていませんので、推移を見ながら検討したいと思います。	企画財政局	市長回答のとおり
		⑬ 照国神社の周辺は鹿児島市にとって聖域のように感じるが、なぜ高層マンションの建築許可が下りたのか。	⑬ 景観条例の景観区域から外れていますので、建築関係から言うと建てられるということになっています。集約型のまちづくりをするためには市街地にマンションを作るという意見もあれば、景観を損なうという意見もあり賛否両論あるかと思えます。	建設局	照国神社から北東側の区域では、市街地から城山の眺望を守るため「高度地区」を指定し、高さ20mを超える建物の建築を制限しております。 一方、神社南西側はその指定から外れていることから、建物の高さの制限は用途地域による規制だけであり、この規制を満足する建物は建築できることとなっております。(照国神社周辺の高層建物については別添資料参照) また、城山周辺地区の景観保全という観点から、鹿児島市景観条例でも「眺望確保範囲」を定め、建物の高さを規制しておりますが、神社南西側はその範囲から外れております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年8月28日(木)18:30~19:30
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	鹿児島大学SCP 女性	⑭ 市が管理する公共施設で、職員が出した生ごみをダンボールコンポスターに入れてもらえれば、公共施設にあることで市民もダンボールコンポスターに興味を持ついい機会になると思うので、職員でチームを作ってダンボールコンポスターに取り組んでもらいたい。	⑭ 素晴らしい提案だと思います。環境の拠点施設の環境未来館に財団ができましたので、財団に今回の提案を伝えて、参考にして取組を進めていきたいと思っています。	環境局	提案内容につきましては、早速、かごしま環境未来財団にお伝えいたしました。 現在、未来館では、ダンボールコンポスターなどを活用して、生ごみのたい肥化に取り組んでいますが、今後、他の公共施設に設置することについては、市関係各課と協議しながら、検討していきたいと思ます。
8	健康な「人・まち・心」をつくる会 男性	⑮ 平川動物公園と錦江湾公園の一体的利用に向けたフィールドワークショップに参加した。錦江湾公園に市民農園を整備して、市民が積極的に使えるようにしてはどうか。また、私たちの団体は平川に農園を持っているので、環境保全型農業による食育を一体的にさせてもらうなど貢献をしたい。そこで、環境と食育について、市長の考えを教えて欲しい。	⑮ 平川動物公園と錦江湾公園を多くの市民・県民・観光客に利用していただくために、一体的利用に向けた検討を進めているところです。平川動物公園はリニューアルを進めている中で多くの方にご利用いただいておりますが、そのうち錦江湾公園を利用するのは1割にも満たないのではないかと思います。 平川のあたりに民間業者が設置しているメガソーラーは、環境が観光に資する施設になっており、錦江湾公園から見ると大変すばらしい景観になっております。 また、環境対策が食育の推進にもつながるということも情報発信していかなければいけないと思います。喜入地域に観光農業公園がありますが、第一次産業・観光・食育などを併せ持った施設として活用しております。	建設局 経済局 健康福祉局	【経済局】 市長回答のとおり 【健康福祉局】 第二次かごしま市食育推進計画の取組の1つとして、環境保全型農業を推進し、食の安全性の確保に努めることとしております。 【建設局】 市民農園については、喜入地域に「鹿児島市観光農業公園」があることから、錦江湾公園への新たな整備は考えておりません。
9	西坂元町町内会 男性	⑯ 西坂元町と鹿児島中央駅間には平成5年から鹿児島交通のバスが走っており、高齢者にとって病院や買い物などにとても役に立っている。しかし、最終便が平日18時30分、土日祝17時20分であり、通勤に使っている若い方々から最終便の延長を望む声が多く届いているので、鹿児島市にもご尽力いただけたらと思う。	⑯ 交通不便地域には鹿児島市営バスやあいばすの施策を推進しておりますが、西坂元町には鹿児島交通が走っているようです。鹿児島のバス会社で構成されているバス協会というものが有りますので、協議の場でこのような強い要望があったと伝えたいと思います。民間の会社ですので採算性というのは課題になるとは思いますが、市民の足を把握することは市にとってもしっかりやらなければいけないことだと思います。	企画財政局	路線バスの運行については、バス事業者が利用者の需要や採算性等を考慮する中で検討していくものですので、ご要望につきましては、西坂元町で路線バスを運行しているバス事業者にお伝えいたします。
10	西坂元町町内会 男性	⑰ 以前は市道の草を刈ってくれていたが、今年は予算がないとのことで刈ってくれない。なぜ今年に限って、そのようになっているのか教えて欲しい。	⑰ 予算がないというのではいけないので、市道については市がしっかりやっつけていかなければいけないと思います。市道の管理をするのは市がやるのが基本ですが、地域のまちづくりについては、町内会の方々と一緒になって、協力をいただきながら進めていかなければいけないと思います。	建設局	町内会等による奉仕活動で草刈りをしていただいておりますが、高齢化が進んできたことなどにより、十分な対応が難しくなり、本市への草刈りの要望が年々増えてきております。 限られた予算でできるだけ要望に応えるために、歩行者や車の通行の支障となる箇所を優先して行うなどの対応に努めております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年8月28日(木)18:30~19:30
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	NPO法人鹿 児島技術士 の会 男性	⑱ エコラインを規模を小さくしてでも再開してほしい。	⑱ 以前はエコラインという団地を結ぶ道路を計画しておりましたが、いまのところ再開する予定はありません。中心市街地のコンパクトなまちづくりという国も方針を出していますが、住みよいまちづくりのための議論をこれからもしていきたいと思いません。	建設局	市長回答のとおり
12	鹿児島大学S CP 女性	⑲ 私たちの活動は環境大臣賞をもらい評価してもらったが、鹿児島市での認知度はまだまだだと感じており、もっと多くの人に環境活動に取り組んでもらうためにも、活動のPRIに協力してほしい。	⑲ 環境未来館の中に財団を作りましたので、そこで情報発信をしております。皆様方の思いは事業として転換して進めたいと思います。	環境局	かごしま環境未来館では、鹿児島大学SCPさんを含む団体の活動については、これまで、地域まるごと共育講座公式ガイドブックや未来館だより、HPなどを通じて可能な限り情報発信に努めております。今後とも、ご意見をいただきながら、各団体の活動について、より効果的なPR方法を検討していきたいと思えます。